

海外進出を加速

電機

愛知県内の電機・情報通信各社は大手企業を中心に海外進出を加速しており、グローバルな競争力を確保する動きが活発になっている。一方、国内では生産面などで合理化を進めているほか、通信インフラの安全性・信頼性の向上を図るなど、需要創出にも取り組んでいる。

テレビ受信アンテナのマスプロ電工(愛知県日進市)は、8月に豪州市場へ参入した。テレビ受信アンテナを300本程度新規で受注したほか、今後は車載用の受信機器などの販売も目指す。同社の海外販売比率は現在1%前後にとどまっているが、豪州市をはじめ海外市場を開拓し、2020年までに同20%への引き上げを目指す。

インターネット大手のアイホンも海外拠点の拡充を急ぐ。13年4月から始める新たな中期3カ年経営計画では、海外生産比率を現在比10%増の40%に高める方針だ。同社は15年をめどに、

グローバル競争力確保

電機・情報通信

える高機能タイプの製品開発などに特化する。13年3月期中に配電盤やキャビネットなどをつくる

円になる。従来は名古屋工場(愛知県長久手市)で手がける配電盤の生産を菊川工場に移管し生産合理化を進める。同社はまた、大規模太陽光発電(メガソーラー)事業に参入する。菊川工場など3工場に約9億円を投じて、最大出力3200キロワットの太陽光発電パネルを設置。13年3～5月に順次稼働する。年間発電電力量は計35万キロワット。年間通りの天候が続いた場合には年1億5000万円の売電収入を見込む。



国内では生産合理化 自動化などでリードタイム短縮

矢田工業所(名古屋市中区)は1億5000万円を投じて、エレベーター部品や分電盤ケースなどの金属部品を加工する稲沢工場(愛知県稲沢市)に自動塗装ラインを新設した。塗装工程にかかる時間を従来の2分の1の2時間に短縮し、繁忙期の作業員負担を減らすほか、新規受注を狙う。同塗装ラインの能力は一日当たり200平方メートルの自動塗装機を導入したほか、毎分1分の速さで部品を自動的に流す生産方式も採用した。

同社はこれに先立ち、前工程の板金加工も愛知県小牧市の工場から稲沢工場の周辺に移転。一連の設備投資で生産のリードタイムを縮め、受注から3日間で製品を納入できる体制(「野村憲司社長を確立する」。



N T T 西日本が公開した光回線の地下道「洞道」

情報通信

災害リスクの高まりに伴い、情報社会を支える通信インフラにはさらなる安全性が求められている。そんな中、N T T 西日本は10月、光ファイバーケーブルを通す地下道「洞道」を名古屋市内で報道陣に公開した。

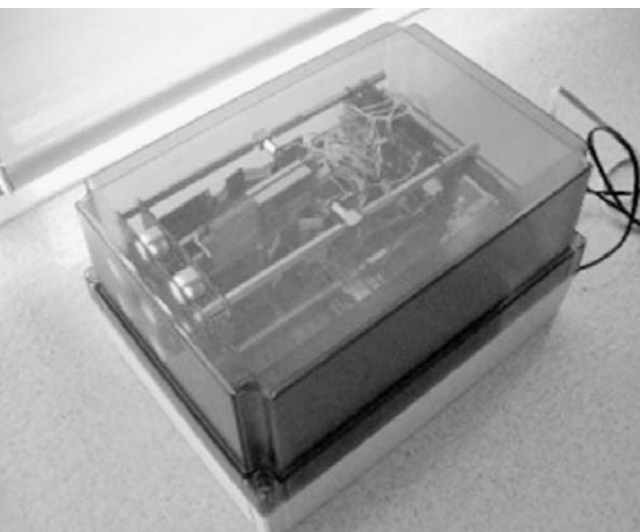
洞道は深さ6～8メートルの地下にあり、水道管や地下鉄などの間をぬらうようにして張り巡らされている。光ファイバーは難燃性の素材を使ったケーブルで覆われ、浸水の危険性も低いという。

名古屋支店によれば、愛知県内にある洞道の総延長は47キロメートル。水道・ガス管などと併用する「共同溝」を含めると、約92キロメートルになる。光回線をはじめ都市部の通信を支える重要なインフラのひとつ

光回線や送電網確保 浸水に強く、バックアップ拡充

家庭用光ファイバー通信回線(FTH)を二重構造化し、メイン回線に障害が起きても自動でバックアップ回線に切り替わるようにした。

FTHは大容量・高速通信が可能だが、増幅器(ブースター)も必要で維持費が少ないといったメリットがある。一方で送信側と受信側を1対1で接続する「ツリー



東洋電機が開発した可視光通信装置

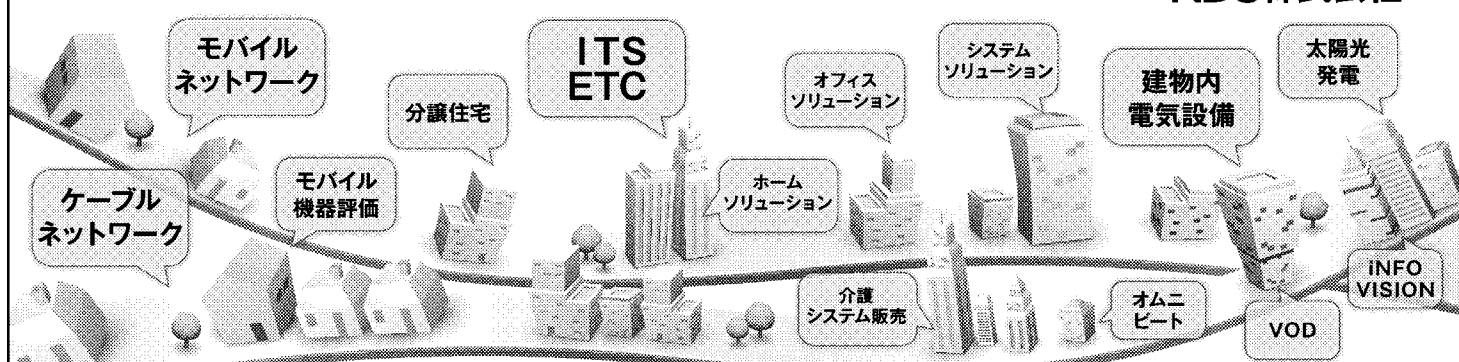
構造のため、二重化が難しかったという。シンクレイヤーはFTHのメリットを生かしつつ、既存回線以上の信頼性を確保するシステムとして拡販していく。

送電線など電力インフラの安全性を高めるのは中部電力グループの愛知電機。送電線や配電線からの電圧を一定に保つ負荷タップ切り替え装置

災害にらみ安全性追求

感動へつなげる、ICT

NDS
NDS株式会社



本社/〒460-0012 名古屋市中区千代田二丁目15番18号 TEL052-263-5011 www.nds-g.co.jp

人を優しく包む、
未来への技術です。

空の青が好きです。
人が好きです。
そんな心の通った技術で
未来を創造します。

電気通信設備
情報通信システム・ネットワーク
人と技術と感動通信
c-cube シーキューブ株式会社

〒460-0018 名古屋市中区門前町1番51号
TEL 052-332-8000 URL http://www.c-cube-g.co.jp

日本ガイシ
NGK

まなざしを前に、
こころざしを高く。

地球環境と、社会のこれからを支える

日本ガイシのセラミックス

世界が直面するさまざまな課題に応え、未来を拓くために。
日本ガイシはセラミック技術を核に、
エネルギー、エコロジー、エレクトロニクスの領域で、
新たな価値の創造に挑み、よりよい社会環境の実現に貢献します。

日本ガイシ株式会社 名古屋瑞穂区須田町2番56号 http://www.ngk.co.jp/

エネルギーの安定供給を支える
送電用がいし

環境保全に役立つ
自動車排ガス浄化用セラミックス

エレクトロニクスの進化に貢献する
圧電マイクロアクチュエーター

NGK/INTK 日本特殊陶業
スーパーセラミック ニューセラミック

その先の進化へ。

日本特殊陶業の歴史は、新しい技術への挑戦の歴史でした。
そして今、自動車、情報通信、セラミックの
未来をつくる挑戦を始めています。

■自動車関連事業……地球環境に配慮した高度な製品を車へ、社会へ。
■情報通信関連事業……先進技術で大容量・高速伝送時代をバックアップ。
■セラミック関連事業……新素材と、応用技術で時代のニーズに応えます。

日本特殊陶業 検索

〒467-8523 名古屋瑞穂区高針町14-18